

■ 学生ワークショップ概要

<龍谷大学>

日 時：令和4年11月9日（水）15時15分～

参加者数：3名

<立命館大学>

日 時：令和4年10月19日（水）13時00分～、令和4年11月16日（水）13時00分～

参加者数：25名

※「環境管理調査実習Ⅰ」で取り組まれた内容についても、別途、本構想に反映させていただきます。

■ 学生意見と今後の対応案まとめ（総括）

	ワークショップ意見の概要	今後の検討
にぎわい	<ul style="list-style-type: none"> ・温浴や飲食機能に関する意見が最も多く、次いでアウトドア施設、宿泊施設、休憩・自習施設等の意見も見られた。 ・また、公園とカフェ・レストラン等の商業施設併設や、草津宿を再現した道の駅といった意見も見られた。 ・工夫としては、目に留まるランドマークやフォトスポット、滋賀ならではの店舗の誘致等の意見があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上位関連計画や課題認識と各機能との整合を精査し、候補を抽出 ・抽出した候補について、検討対象地の敷地規模との整合を精査 ・民間事業者サウンディング調査のヒアリング先に、意見の多かった機能に関連する企業を選定（特に、温浴、県内の飲食・物販、宿泊等） ・アンケート（実施調整中）における、利用したい機能の一覧に例示して市民ニーズを確認
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型の防災センターに関する意見があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域防災機能の位置付け
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・高速＋路線バスタの設置、バス路線の新設（烏丸半島方面、伊丹・関西空港方面）の意見が複数見られた ・高速バスが停車すれば旅行や JR 不通時に便利だとの意見が見られた 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の空港等までのアクセスの状況を整理し、バスタ利用との所要時間を比較 ・アンケート（実施調整中）において、バス路線のニーズを調査

■ 龍谷大学生の意見まとめ

	現状、課題認識	アイデア
にぎわい	<ul style="list-style-type: none"> ・龍谷大学は車通学ができないため、バイクや自転車が主な移動手段 ・県立美術館や県立図書館があることは知っているが行ったことはない ・下宿生の買い物は帰り道や家の近くで済ませることが多い ・学外に出るのに時間がかかるため、大学（図書館等）で時間を過ごすことが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場＋売店・物産＋バスタ（例：長野県小布施） ・フォトスポット（家族連れやカップルをターゲット） ・琵琶湖の魚の展示・飲食（家族連れをターゲット） ・飲食店があると立ち寄りやすい ・授業の合間に利用できる映画館やネットカフェ ・コンセプト特化型飲食コンプレックス（飲食店はフォレオにもある） ・目に留まるランドマークがあると興味を引く（例：群馬県こんにやくパーク） ・滋賀ならではの、滋賀発祥の店が並ぶとよい（来来亭等）
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・学生は車を持っていないかたり、帰る方向が違ったりして、草津 PA を使わない可能性 ・拠点ができただけの場合の交通渋滞が心配 ・びわこ文化公園都市には学校が多く事故が心配 ・京滋バイパスに出るまでの渋滞がひどい 	<ul style="list-style-type: none"> ・JR 琵琶湖線が動かない時に高速バスで大阪まで帰れると便利 ・夜行バスに乗ればすぐ旅行に行けてよい ・電車では乗り換えが多いため、草津 PA～関西国際空港・伊丹空港行きのバスがあるとよい ・すぐ本線に復帰できるような形状のバスタがよい ・高速バスは停車箇所が少ないほど強みがある

■立命館大学生の意見まとめ

	分類	現状、課題認識	アイデア	導入機能のイメージ	ターゲット	その他効果	
にぎわい	休憩・自習	・集中できる空間が少ない（大学は人が多く、通う頻度が多い人は飽きてしまう） ・24時間営業の施設や夜カフェが少ない	・集中できる空間 ・24時間利用可の 多機能リラクスペース	・Wi-Fi、コンセント、ドリンクバー、手頃な軽食などの販売、仮眠スペース ・マッサージ機、コーヒーマシン、簡易カフェ・ソファ席、飲食自販機	・学生、バス運転手（休憩場所） ・地域住民・ドライバー	・アルバイト雇用創出 ・学生の交流の場、ドライバーの休憩・眠気覚まし	
	学習	草津市は子連れで過ごしやすい一方遊べる場は少ない 大学が複数立地も交流機会が少ない	産学官連携による 体験型学習イベント	イベント会場（小学生の一時預かり・研究拠点）、会議室、飲食店、スーパー ※学生が学童支援員アルバイトとして企画・運営	小学生、親世代（子どもの預け先）、大学生（アルバイト先）	子育て環境向上、学生の交流の場創出・滞在時間増加、ついで消費	
	アウトドア	滋賀県～京都府の JR 琵琶湖線・名神高速道路沿線にキャンプ場が少ない（立命館から最寄りキャンプ場まで 1 時間以上）	キャンプ場、グランピング施設	—	—	家族連れ、県外の旅行者客、トラック運転手（休憩場所）	草津市の PR、防災機能
		草津 PA は単なる経由地であり、立ち寄りたい場所ではない	遊園地	目印となる遊具、琵琶湖の景観と掛け合わせた「映え」、アトラクションは大学と協力して製作 例：刈谷ハイウェイオアシス	草津 PA 利用者、地域住民		
		関西には室内アスレチック施設は比較的少ない	室内アスレチック施設	天候や季節の影響を受けない、VR 等も活用した SNS 映えするアスレチック施設（室内とすることで六甲山アスレチックパークと差別化）	学生、家族連れ、Z 世代	施設利用後の飲食店利用	
	公園＋商業		公園を囲む商業施設	レストラン・カフェ、ショップ（衣服、セレクトショップ）、特産品出店、公園・広場 例：グリーンスプリングス		特産品 PR、地元への経済効果	
		草津市はおしゃれなカフェや、一日中遊べる場所がない 自然が豊か	滋賀県の花や食材を使用した オリジナリティのある公園	季節のイベント、お花畑・紅葉、イルミネーション、キッチンカーやカフェ	大学生、家族連れ		
	道の駅	草津 PA は草津らしさに欠ける 周辺に道の駅が少ない	草津宿を再現した 街角タイムスリップができる道の駅	草津宿の町並みを再現した、カフェ、パン屋、銭湯、直売所、地産地消レストラン、チャレンジショップ、ドッグラン、駐車場（100 台程度）		草津市の認知度向上	
	飲食		B-1 グランプリフェス	長時間滞在でき、遠方からでも参加しやすいご当地グルメ屋台・音楽フェス	家族連れ	草津市の PR、地元への経済効果	
		蜂蜜の自給率が低い、全国から材料を集めやすい	はちみつテーマパーク	蜂蜜・養蜂の博物館、蜂蜜商品の販売、カフェ、文化公園内での養蜂	ファミリー層	新たな客層の開拓	
			カフェ	地元の野菜の販売、各県の有名店の支店	地域住民、高齢者、PA 利用者	草津 PA の認知度向上	
	温浴	名神・新名神沿道に温泉施設がある SA、PA は少ない スターボックスは草津市中心部のみ	温泉・スターボックス	長距離ドライバーの休憩地・運動後のリフレッシュになる温泉施設、文化公園都市になじみ勉強もできるカフェ	ドライバー、地域住民、学生 草津田上 IC 利用者	BKC 学生の 7%が訪れれば年間 1 万人の集客	
		・24 時間営業の温泉施設は周囲に少ない ・サ活（サウナ活動）の流行	・24 時間営業の 温泉 ・スーパー銭湯 ・温泉・ サウナ・岩盤浴	・24 時間営業でリーズナブルな温泉 ・日帰り温泉施設 例：刈谷ハイウェイオアシス ・旅行帰りに立ち寄れる温泉・サウナ・岩盤浴施設	学生、ドライバー、地域住民	地域住民の憩いの場 施設利用後の飲食店利用	
		足湯があるパーキングエリアは少なく、草津市にもない	足湯	無料の足湯＋有料タオル貸し出し（短時間利用可、男女別にならない、低コスト）		健康促進	
宿泊		・ カプセルホテル を中心とした複合施設 ・カプセルホテル	・カプセルホテル、大浴場（サウナを充実）例：京田辺 PA ・机、コンセント、無料 Wi-Fi があり勉強もできるカプセルホテル	学生、PA 利用者（特にドライバー）、地域住民			
漫画・アニメ	熊本県のワンピース銅像は経済効果 26 億円	キャラクターの銅像・関連グッズ等	ROOKIES 作者の出身地であるため、キャラクター銅像設置やグッズ販売、キャッチボールエリア設置等	車を運転できる親世代 家族連れ			
防災	名神・新名神が分岐・合流する道路ネットワーク びわこ文化公園都市諸施設との連携が可能 全国的な防災意識の高まりを踏まえた防災対策強化	体験型防災センター	応急復旧活動の展開拠点、救援物資の輸送拠点、ドローン基地 地震体験、防災グッズやハザードマップの紹介、防災・減災における ICT 活用事例の紹介		誰もが安心して住み続けられる住環境の向上、市民の防災意識向上		
交通	バス新設	琵琶湖線を境にバス路線が分断されている	観光地に直通するバス路線の新設 、観光客の足を確保	新草津 BC に昼行高速バスを乗り入れ 新草津 BC から烏丸半島、イオン・浜大津へ直通路線運行	観光客、地域住民		
	バスタ	草津・大津の観光地は駅から離れている	高速＋路線バスタ観光拠点	バス経由地＋飲食店、休憩所からなる観光拠点	観光客、地域住民、バス運転手	地域住民の交流の場に	
			草津 PA と道の駅を繋ぐ	PA 接続型スマート IC、ファストフード店、高速バス駐車場、バスタ、マルシェ（バス時刻まで時間をつぶせる）	高速バス利用者、学生、地域住民、車中泊利用者	イベント・雇用促進による地域活性化 高速バスにより全国とつながる	